

令和元年度第1回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議（全体）

会議録

1. 日 時 令和元年7月22（月） 午後2時～午後2時30分
2. 会 場 我孫子市役所 分館1階 大会議室
3. 出席委員 (A班) 熊田委員、山内委員、白土委員、門脇委員
(B班) 林委員、山岸委員、坂巻委員、山下委員
4. 議 題
 - (1) 今年度の会議の流れについて
 - ・令和元年度我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議 年間スケジュール【資料1】
 - (2) 平成30年度地方創生推進交付金の活用における効果検証について
 - ・地方創生推進交付金の活用における効果検証シート【資料2】
 - ・平成31年度地方創生推進交付金の活用【資料3】
 - (3) 平成30年度施策評価について
 - ・我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略施策評価表（平成30年度分）【資料4】
 - (4) その他

議題に入る前に、委員長と副委員長の選任を行った。前回に引き続き、林委員が委員長、熊田委員が副委員長をそれぞれ務めることとなった。

○林委員長 それでは、ただいまから議題のほうに入りたいと思います。

皆様の会議次第にのっとりまして、これから議題に入らせていただきたいと思います。

まず、1番目の議題でございますけれども、今年度の会議の流れについて、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。お願いいたします。

○事務局 それでは、議題1の今年度の会議の流れについて説明します。お手元の資料1「令和元年度・我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議年間スケジュール（案）」をご覧ください。

まず、下段の取組内容についてです。

今年度、会議で行いたい案件として5件並んでいます。(1)の平成30年度地方創生推進交付金の効果検証、(2)の平成30年度まち・ひと・しごと創生総合戦略施策の評価、本日はこの(1)(2)について皆様に協議いただきたいと考えています。

続いて、(3)の市内公共施設の視察。こちらにつきましては、水の館など気になるところを視察しながら、事業について考えていきたいというご意見が昨年度にありました。時間があるようでしたら、実施したいと考えています。

そして、(4)の次期創生総合戦略の策定についてです。現在の戦略の計画期間は今年度までとなっており、国からは、次期創生総合戦略をつくるよう方針が出ています。我孫子市としましては、令和4年度からスタートする新たな総合計画と一本化し、地方創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施したいと考えています。そうすると、令和2年度と3年度が空白期間となってしまいますので、現在の戦略をもう2年、指標を伸ばして延長できないかと考えています。

この考えについては、県を通じて国に問い合わせしており、国の返事を待っている状況です。

こちらのほうは恐らく今年度の後半で明らかになると思います。その後、事務局で固めた延長の内容を皆さんに確認していただこうかと考えています。

最後に、(5)の市長との意見交換会です。こちらは昨年度同様、最後の会議の際に市長に来てもらいまして、皆さんと意見交換をしていただければと考えています。

以上の内容を踏まえまして、上半分の会議日程をご覧ください。まず第1回の会議が本日はです。その下の囲いの部分にも書いてあるとおり、令和2年度以降を推進期間とする次期創生総合戦略の策定について、国から方針が出次第、第2回を開催ということで現在考えています。

第2回以降が11月と、年をまたいで1月、3月というあたりを今のところは想定しています。こちらのスケジュールについては、今いらっしゃる方で総合計画審議会にもお力添えいただいている委員の方々もいらっしゃいますので、その総合計画審議会がない月ということで、設定させていただいています。

今年度の年間スケジュールの説明は以上です。

○林委員長 ありがとうございます。ただいま事務局から今年度の取組内容について、5点あるというお話がございました。また、会議日程の案が第1回から第4回までであるということで示されたわけですけれども、ただいまの説明内容につきまして、何か確認、質問、意見

等がございましたら、各委員の皆様におかれましては、ご発言をお願いできればと思います。
何かございますでしょうか。

○熊田副委員長 先ほどの次期の総合戦略の件については、ある程度、今打診しているところで認められそうだとということで理解をしていいですか。

○事務局 県からは、1年延長したいという相談は複数の自治体から来ているようですが、2年延長は我孫子市が初めてのようです。8月に各市町村と県との意見交換会を予定していますので、恐らくそこで意見を吸い上げて、国としてどう判断するかということになると思いますので、今のところはまだ分からない状況です。

○熊田副委員長 もし認められなかった場合は、1年でやってしまうような形になるわけですか。

○事務局 その場合は、次期戦略を今年度中に策定し、令和2年度から推進していくこととなります。

○熊田副委員長 そうすると、その辺の、逆にいうとやろうとしていることが変わってしまうというイメージになりますか。それとも、我々は評価だけというニュアンスになりますか。評価は続くのか。ことし1年。

○事務局 評価は引き続きお願いすることとなります。

○熊田副委員長 評価は継続するということですね。わかりました。

○林委員長 そのほかに何か意見や質問等ございますでしょうか。

特にないようですね。

あと、取組内容の中で(3)のところでございますけれども、市内公共施設への視察という項目がありました。こちら、先ほど事前の打ち合わせの中で事務局のほうからお話がございまして、これまで班別にそれぞれかなり細かく評価というものを行ってきている中で、いろいろ課題というのがあるけれども、毎年、検討する中で議論になるところが大体わかってきた中で、特に、まち・ひと・しごとの創生という観点から、もう少し分野横断的な評価が必要だという問題意識もある中で、何か一つ今までの総括的な評価に加えて、疑問という言い方はおかしいですけど、もう少し、最終年度を迎えるに当たって重点的な何か評価をする取っかかりとして、こういうような視察があったほうがよいのではないかという提案の中から実現したというふうに聞いてございます。

こちらの施設につきましては、どちらを視察するかというのはまだ決まっていないということでございますので、今日ということではなくて、皆様のほうから、こういった施設のこ

ういもの見学や視察が必要ではないかというご意見がございましたら、事務局のほうで吸い上げていただきたいと思っていますので、ご検討いただきまして、皆様からのご意見を頂戴できればと思っています。

以上で、議題の1については特に意見もないということですので、先に進ませていただければと思います。

本日の中心的な議題になります2のところでございますけれども、平成30年度の地方創生推進交付金の活用における効果検証についてということで、資料2、資料3が配られていますが、こちらについての内容の説明を事務局のほうからお願いいたしたいと思っています。それでは、お願いいたします。

○事務局 それでは、お手元に机上配布しています、まず資料2のA3横のホチキスどめのものをご覧ください。

現在、国では地方創生をテーマに各自治体に新たな取り組みを促して、それに対して交付金を出しており、我孫子市においては、平成29年度から活用しています。今回は皆さんに平成30年度に交付金を活用した事業内容をご覧いただき、評価、検証をしていただきたいと考えています。

資料2の1枚目のものにつきましては、「地方創生推進交付金とは」という位置づけと、我孫子市がどういう事業を出しているかというのが載っています。こちらにつきましては、説明は割愛させていただきます。

次のページをご覧ください。我孫子市で、この交付金を使って取り組んでいる事業に対して、KPIとして目標設定を3点設けています。KPI①は、手賀沼沿いの交流空間となる施設の入場者数。こちらは手賀沼親水広場と農業拠点施設の合計の入場者数です。

KPI②は、我孫子駅前インフォメーションセンターのアビシルベの来訪者数。KPI③は、スポーツボランティア養成講座の受講者数です。これらの毎年度指標の目標が、前年度から何人増加するかというのが目標になっています。

30年度の達成状況は、残念ながら3つとも未達成という状況になっています。それぞれ目標増加数に対して、そこまで伸びなかったものや、むしろマイナスになってしまっているものもあります。この未達成の理由や、それを踏まえてどう事業を見直していくかというのは、下の表に記載しています。

そして、中段から一番下段の表が交付対象事業内訳です。こちらについては、我孫子市がどういう取組みを交付金を使って実施したかというものを表にしています。大きく項目とし

て4つに分けているのですが、1番目の「地域資源を活用したスポーツ推進事業」につきましては、講師報償費を推進交付金の対象としていました。事業は実施したものの、講師を無償で務めていただいたということで交付金は活用しませんでした。そのため、こちらは割愛しています。

2番の「手賀沼沿いウォーターサイド整備事業」の1行目にある「手賀沼親水広場の運営」は、29年度に実施する予定だったのですが、事業の遅れにより、翌年度繰越をしました。実際に着手したのは30年度になりましたので、こちらに掲載しています。7月20日に水の館付近にあるじゃぶじゃぶ池がオープンいたしまして、そちらの改修工事の設計委託事業費735万4,000円に対して、2分の1の367万7,000円の交付額です。

取組内容については所管課のほうで記載しておりまして、一番右の欄が事業の評価欄です。KPIは未達成になってしまっているのですが、達成に向けた取り組みとしては「大いに効果があった」か、「効果があった」か、それとも「あまり効果がなかった」か。この3つのいずれかで評価いただければと思います。その他、付帯事項等がありましたら、有識者の意見というところも設けていますので、そこでまとめていく予定です。

次のページをご覧ください。先ほどの手賀沼沿いウォーターサイド整備事業の続きになります。

まず、手賀沼沿いエリアの活用整備について、30年度は2つあります。まず委託費です。手賀沼親水広場プラネタリウム管理運営委託費として、675万円の事業に対して337万5,000円の交付額です。その下の行が備品購入費についてです。として、手賀沼公園のSL広場で走らせるミニ新幹線として、ドクターイエローという車両を購入しました。

続きまして、我孫子産農産物の品質向上のための生産履歴システムの導入です。こちらにつきましては、エコ農産物の認証手を簡素化するためのシステムを導入しました。3月末の導入だったため、実際の運用は今年度の秋ぐらいから本格稼働ということで、今現在は試運転をしている状況です。

そして、3番、「我孫子の魅力発掘・発信・シティーセールス推進事業」です。こちらにつきましては、3つの事業を出しています。

まず委託費として、我孫子の魅力を発信する各種シティープロモーション制作。そして広告費として、駅、街頭ビジョンによるプロモーションビデオ放映。保守料は、ホームページ保守点検です。こちらは、新たにベトナム語に対応させるということでシステムを入れています。

最後に4番として、「移住・定住促進につなげるための雇用拡大事業」です。こちらにつきましては、企業立地推進課が進めている事業として、企業個別相談会と女性支援フォーラムを実施しました。この2つの取り組みで3名が起業しました。

また、皆さんに途中で配付させていただいたホチキスどめの資料ですけれども、両面で4ページになっています。1ページ目が水の館の入館者数、2ページ目がアビシルベの月別の来訪者数、3ページ目がミニSLの利用者数、4ページ目がホームページの翻訳回数集計を掲載しています。それぞれ数の推移が出ていますので、効果検証をしていただく際の参考資料としてお使いいただければと思います。

資料3につきましては、今年度推進交付金を活用して行う取り組みでございます。基本的には引き続き実施するものが多いのですが、こちらについては参考としてお配りいたしますので、後でお目通しいただいて何か気になる部分等ありましたら、事務局にお尋ねください。

説明は以上になります。

○林委員長 ありがとうございます。ただいま、議題2につきまして、議題2に掲げられています平成30年度の地方創生推進交付金の活用における効果検証についての資料を事務局のほうからご説明いただきました。

本日の1つ目の議題といたしましては、今、お話がございましたとおり、資料2におきますところの事業の評価というところが、本日、皆様にご検討いただきたいところになってございます。各事業別に、それぞれKPI達成に向けた取り組みとして、1、2、3、どのあたりとして評価をつけていくのか。また、こういった定性的な評価だけではなくて、有識者の意見ということで、何かKPIの達成等、あるいは事業の推進等に向けてコメントを付しておいたほうがよいことがあれば、こちらについてもコメントについての書き込み、提案を検討していくというのが本日の大きい課題の一つとなっております。

以上の作業内容がきょうの1つ目ということになりますけれども、ただいまの資料につきまして、それぞれ議論を進めていく前段として、もう少し補足説明が欲しい、あるいは、内容がわからない点等がございましたら、各委員のほうからご発言いただきまして、わからない点をなくす形でこの会議を進めたいと思いますけれども、何か質問事項等、あるいは確認事項等が委員の皆様におかれましてはございますでしょうか。

現段階では、特にないでしょうか。これからグループ別に作業に入るところですが、各グループに事務局の方についていただきますので、やっていく中でわからない点があったら、その際に事務局の方からお話しいただければと思います。

このまま作業に入るということではなくて、関連性がございまして、資料4につきましても、引き続き議題が4という形になって別の議題になりますが、まずは意見を交換するという作業を円滑に進めるため、議題3の平成30年度施策評価についての資料についても、ここで一旦説明を受けたいと思います。それでは、事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 それでは、お手元の資料で、A3ホチキスどめ、右上に資料4と書いてあるものをご覧ください。

こちらは、平成30年度分の実績を記した施策評価表です。KPIとして設定した全62の事業について、皆さんに引き続き評価いただきたいと考えています。

評価方法につきましては、昨年と大きく変わるようなところはございません。30年度の実績値や達成率、達成状況がございまして、そちらを総合的に判断いただきまして、順調か、ほぼ順調か、順調とは言えないか、この3つで評価をしてください。気になるところにつきましては、有識者からの意見というところでまとめていきたいと考えています。

こちらの事業評価をしていくに当たって、今お配りさせていただいたものがございまして、大きく4つありまして、ホチキスどめのものが3つと、クリップどめのものが1つございまして、それぞれの資料には、全62の事業のうち、何番の事業の資料なのかというのが、右上に番号として記してあります。

これらの資料をご覧くださいながら、本日は評価をしていただければと考えています。説明は以上です。

○林委員長 ただいま議題3に関連しました資料についての資料の説明、あるいはそれに関する補足説明資料についてのご説明をいただいたところですが、今後、作業を進めるに当たって、確認事項や質問事項がありましたら、こちらで一旦お預けいただければと思います。皆様におかれましては、いかがでございでしょうか。

今、資料をいただいたばかりですので、細かい質問というのはなかなか難しいと思いますので、作業を今後グループでこれから進めていく中で、各事務局の担当の方に見に来ていただけるということでございまして、その節にいろいろ細かな点を聞いていただければと思います。

資料2、3、4ということで、本日、皆様にご検討いただく資料につきましては、以上で説明が終わった形になってございまして、これから4時終了を目途といたしておりますので、各グループ、A、B班別々になりますけれども、まず、資料2、資料3についての意見交換を進めていただいて、それが終わり次第、資料4についても議論を進めていただく。こういっ

た班別の形になりますけれども、以下、グループ別に作業ということで進めてまいりたいと思いますので、皆様におかれましては意見のほうをよろしくお願いいたします。

(これ以降は、A班とB班に分かれての意見交換)